

復活節第3主日(白)

主日礼拝

2026年4月19日 10時20分～

司式:

奏楽:

■■■ 調布教会は2026年度に創立80周年を迎えます! ■■■

「良い羊飼い」

『エゼキエル書』において、イスラエルには悪い牧者がいたと告げられています。悪い牧者とは、王、祭司、預言者、町の長老たちのことです。牧者は羊の群れを野獣や盗人たちから羊を守らねばならないはずなのに、王は私服を肥やすことばかりで民を守ろうとせず、祭司は神に対して不誠実であり、神殿礼拝を正しく管理・指導しようとしません。預言者は楽観的な言葉を語るばかりであり、長老たちは律法で養護すべきとされていた孤児や寡婦たちを養護せず、立場を利用して土地や財産を不当に奪っていた者もありました。神はそのような悪しき牧者たちを罰すると言われます。さらに神は自らが牧者となって、散らされた羊である民を探し歩き、見つけて連れ戻し、良い牧草地で民を養うというのです。バビロン捕囚は、悪しき牧者たちの罪によってもたらされた試練ですが、彼らの代わりに神は良い牧者となって、捕囚のイスラエルを救い、幸いをもたらしてくださるのです。

『ヨハネによる福音書』では、主イエス・キリストが「私は良い羊飼いである」とおっしゃいます。そして「良い羊飼いは羊のために命を捨てる」とおっしゃいます。私たちが罪の支配から解放するために、十字架で死なれる主は、まさに「命を捨てる」良い羊飼いです。しかし主は御自分の命を捨てるだけでなく、「再び受けることもできる」とおっしゃいます。その御言葉どおりに十字架での死から三日目に復活されたのです。良い羊飼いである主イエスの羊とは誰であるのか。当時ユダヤ人は神の祝福を受けるのはユダヤ人だけだと考えていました。しかし主は異邦人も導くべき「羊」として見ておられました。良い羊飼いに聞き従いましょう。

《神の招き》

前 奏 『主はわがかいぬし (詩編23編、讃美歌120番)』 柳瀬佐和子
 招 詞 イザヤ書48章17節
 賛 美 歌 204

《神の言葉》

祈 禱 聖霊の照らしを求める祈り
 聖 書 エゼキエル書34章7～15節 (旧約1333頁)
 ヨハネによる福音書10章7～18節 (新約 183頁)

子ども説教
 交読詩編 詩編23編1～6節 (28頁)
 賛美歌 358
 説教 「良い羊飼い」 八木浩史牧師
 祈禱
 賛美歌 459

《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条
 献金 献金当番
 祈禱
 主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派遣》

頌栄 39-6
 祝福
 報告
 後奏 『コラール「神は私の守り、忠実な羊飼い」』 J.S. バッハ

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
 音響: 映像: